



専門科目医療相談ーベトナム、ハノイ (2016/1/9-12)

1) ハノイの医療巡回を実施(1/11)

今年度の医療巡回第6弾はベトナムの首都、ハノイ。ベトナムは面積33万平方キロで日本の約9割。一人当たりのGDPは2,000ドルで日本の18分の1。人口約9,000万人。日越関係は良好で、日本はベトナムにとって最大の援助国。2013年の日本の対ベトナム直接投資額(新規及び追加: 認可ベース)は57.5億ドルで国別で第1位。約1400の日本企業が進出しており、約13,500人の在留邦人が登録されている。(外務省ホームページより)
JOMFは1月11日(月)、ハノイ西部にあるハノイ日本人学校で小学1~6年と中学1~3年の歯科健診を実施した。



ベトナム医療巡回実績

都市	場所	スケジュール	医師	参加者数
ハノイ (1/11)	ハノイ日本人学校	歯科健診 (小学1~6、中学1~3)	田中健一先生 戸谷まどか先生	347名



健診風景(1)

健診風景(2)

戸谷先生

吉津先生

低学年の生徒もお行儀よく、整然と待機。感動しました！

2) ハノイ日本人学校 歯科健診(1/11)

ハノイ日本人学校歯科健診の会場となったハノイ日本人学校(校長 木本吉則先生)は、1994年ハノイ補習授業校として創立、1996年にハノイ日本人学校として開校。在校生は354名(小学校296名、中学校58名)。歯科健診の受入れを担当くださったのは、教頭の青柳文男先生。今回の歯科健診を担当した医師は、JOMFの医療巡回の生みの親的存在でもある北京天衛診療所の田中健一先生と戸谷歯科医院の戸谷まどか先生。加えて、東京医科歯科大学の吉津智慧先生が、現地に応援に駆けつけてくれた。

ハノイ日本人学校:

<http://www.jshanoi.com/View/Public/viewDetailNews.aspx?MaLoaiTinTucHoatDong=200605120001>



木本校長先生

青柳先生、田中先生、戸谷先生、吉津先生



ハノイ日本人学校

3) ベトナム日本商工会、さくらHoa Anh Dao幼稚園訪問(1/11)

- ・1月10日はベトナム日本商工会の秋山早苗様に会い、また、11日はベトナム日本商工会の安藤憲吾事務局長を表敬。
- ・同じく1月11日には、ハノイにある4つの日本人幼稚園のひとつ、西湖東岸にあるさくらHoa Anh Dao 幼稚園の園長塩川 桜 先生を訪ね、ハノイの日本人幼稚園事情、医療健診へのニーズなどをヒアリング。

4) ベトナム医療事情

【外務省「世界の医療事情」より】

都市部と地方の医療環境は大きく異なる。また、公立医療機関と私立医療機関でも医療環境は大きく異なる。ハノイやホーチミンには近代的医療機器を備えた私立病院がいくつかあり、重症でなければ日本人が利用できる医療環境となっている。

<ハノイの医療機関>

- ・さくらクリニック
- ・Tokyo International Clinic
- ・Vinmec International Hospital
- ・International SOS
- ・H Clinic Trung Hoa
- ・Family Medical Practice など



歯科健診に向かう歯科チーム(ハノイ)

JOMFの専門科目医療相談

JOMFは、海外に在留している日本人を医療面でサポートするために1984年に創立され、現在は海外で3か所の診療所の運営をしている。また、それを補完するために、2002年から専門科目の日本人医師を派遣して、世界の主要な都市で医療相談を実施している。ハノイでは2014年度から歯科巡回を実施し、今回が3回目となる。

JOMFの事業内容ー海外専門科目医療相談:
<http://www.jomf.or.jp/about/jigyuu/special.html>
JOMFの活用ガイド:
<http://www.jomf.or.jp/pdf/guide.pdf>